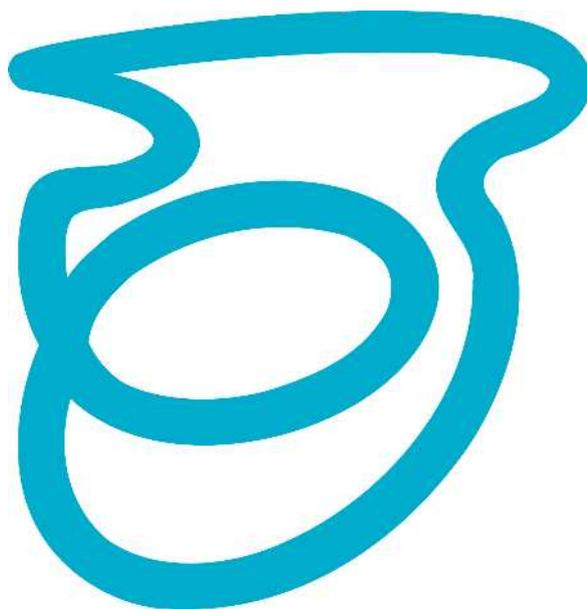


第2次伊豆市総合計画策定に向けた

市民ワークショップ結果報告書



平成 27 年 1 月

伊 豆 市



第1章 実施概要、ワークショップの流れ

実施概要

1 目的

第2次伊豆市総合計画の策定に向けた、10年後の伊豆市のまちづくりの方向性の検討にあたり、市民の皆様の目線から、伊豆市の現状や地域を良くするためのアイデアなどを考えていただくために実施しました。

2 実施日時

ワークショップは、全3回にわたり、以下のとおり開催しました。

| 回 | 日時 | 場所 | 参加人数、グループ数 |
|-----|------------------------------|---------------------|------------|
| 第1回 | 平成26年8月27日(水) 19:00~21:00 | 生きいきプラザ 第3・第4会議室 | 25人、3グループ |
| 第2回 | 平成26年9月9日(火) 19:00~21:00 | 生きいきプラザ 第3・第4会議室 | 23人、3グループ |
| 第3回 | 平成26年9月30日(火) 19:00~21:00 | 生きいきプラザ 第3・第4会議室 | 17人、3グループ |

3 「ワークショップ」について

ワークショップとは、先生や講師から一方的に話を聞くのではなく、参加者が主体的に論議に参加し、相互に刺激し合い学び合う方法です。

ワークショップの流れについて

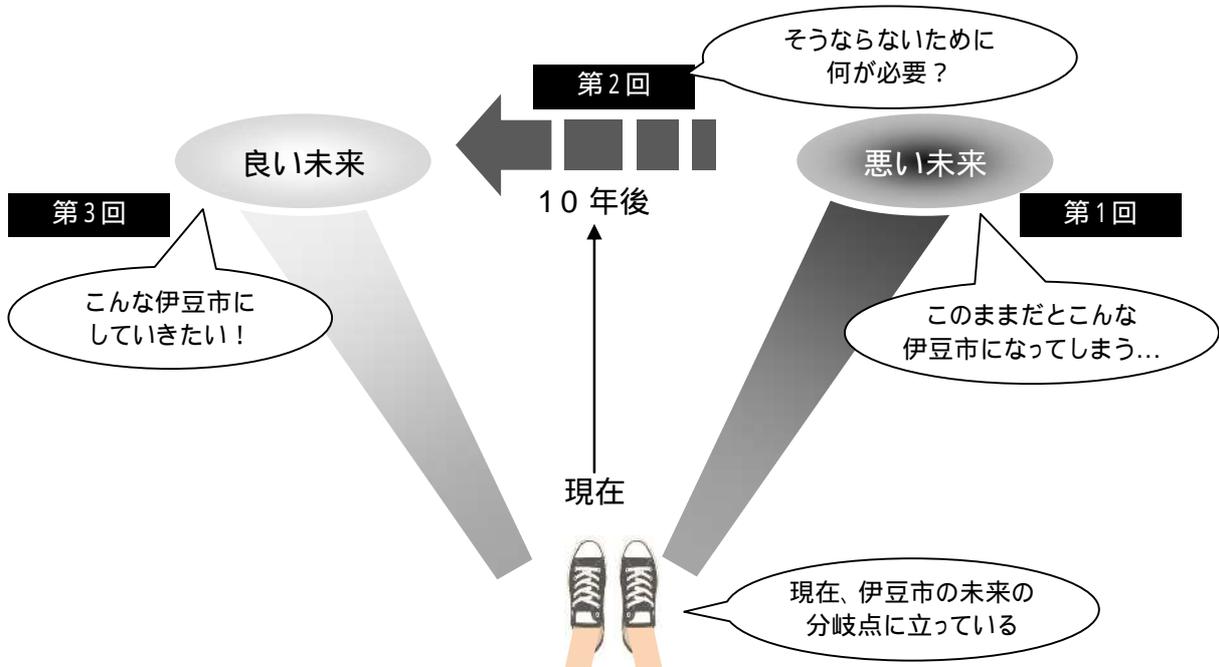
今回のワークショップについては、全3回にわたって実施しました。

まず、第1回では、『伊豆市の“悪い未来”を想像する』をテーマに、伊豆市が現在危機的状況に直面していることを理解していただいたのち、「現在、伊豆市の未来は分岐点に立たされている」と仮定し、このまま手を打たない場合に行きついてしまう『伊豆市の悪い未来』について考えていただきました。

第2回では、第1回で考えた『伊豆市の悪い未来』に行きつかないようにするためには、『何をしたらよいか、何をすべきか』について考えていただきました。

さらに、第3回では、第2回で考えた『悪い伊豆市に向かわないためにすべきこと』に取り組んでいくと、どのような『伊豆市の良い未来』が見えてくるかについて考えていただき、最終的に『伊豆市の明るい未来の将来像』のキャッチフレーズを考えていただきました。

ワークショップの各回のテーマのイメージ



ワークショップの各回の実施概要

| 回 | 内 容 |
|-----|--|
| 第1回 | <p>【テーマ】伊豆市の“悪い未来”を想像する</p> <p>ワークショップの趣旨説明 総合計画の概要、伊豆市の現状についての説明 ワークショップの実施</p> <p>(1)前半:小グループによる自由な話し合い(ワールドカフェ) 『このままだと、伊豆市にはこんな“悪い未来”が待っている!』</p> <p>(2)後半:話し合った内容の整理(逆双六形式) 「どうしてそうなるか?」を考えましょう</p> |
| 第2回 | <p>【テーマ】伊豆市が“悪い未来”に向かわないために何をすべきかを考える</p> <p>第1回ワークショップの振り返り ワークショップの実施</p> <p>(1)「悪い伊豆市」に向かわないために、「何をすべきか」を考えましょう (2)「すべきこと」を一言でまとめましょう</p> |
| 第3回 | <p>【テーマ】伊豆市の“良い未来”を考える</p> <p>第2回ワークショップの振り返り ワークショップの実施</p> <p>(1)「すべきこと」を行うことで、見えてくる未来のキーワードを書きましょう (2)伊豆市の「明るい未来」に向けたキャッチフレーズを考えましょう (3)話あった内容を発表し、お互いの内容を共有しましょう</p> |

第2章 実施結果

第1回ワークショップ

1 当日の流れ

(1) 総合計画の概要、伊豆市の現状についての説明

まず、ワークショップ実施の趣旨説明の他、事務局より、総合計画の概要について簡単に説明をしたのち、人口・産業・財政の統計から伊豆市が現在危機的状況に直面していることを理解していただきました。



(2) 小グループによる自由な話し合い(ワールドカフェ形式)

テーマ『このままだと、伊豆市にはこんな“悪い未来”が待っている!』

まずは、ワークショップの約束事や進め方などについて、説明を行いました。

そして、ワールドカフェという参加者が自由な雰囲気の中で話し合うことができる方式でワークショップを実施しました。ワークショップでは、3～4人のグループを複数作成し、「このままだと、伊豆市にはこんな“悪い未来”が待っている!」をテーマに話し合いを行いました。損後、メンバーを変えながら3ラウンド話し合いを重ね、テーマに対する考えを参加者全員で深めていきました。



(3) 話し合った内容の整理 「どうしてそうなるか？」を考える(逆双六形式)

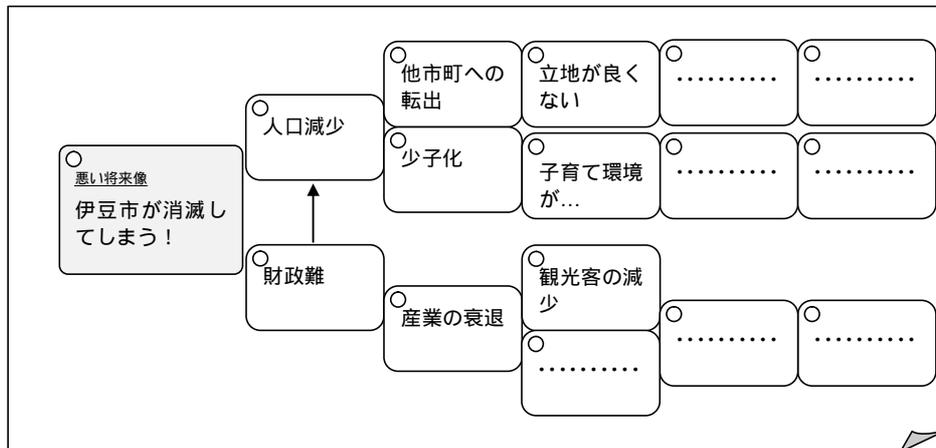
テーマ『このままだと、伊豆市にはこんな“悪い未来”が待っている!』

ワールドカフェ形式で行った話し合いの後、参加者を3つのグループに分け、『このままだと、伊豆市にはこんな“悪い未来”が待っている!』をテーマに模造紙とカードを使ってワークショップを行いました。

まずは、各グループで、『このまま手を打たないと行きついてしまう伊豆市の“悪い将来像”』を1つ決めて、カードに書きました。その後、カードに書いた将来像に行きついてしまう「原因」を別のカードに書き、“悪い将来像”のカードの隣に置き、さらにカードに書いた「原因」に行きついてしまう「原因」を新たにカードに書いて、隣に置くことを繰り返しました。

このように、参加者の方には、“悪い将来像”に行きつく原因を可能な限り書き出していただいたところで、第1回ワークショップを終了しました。

模造紙の作成イメージ



“悪い未来”に行きつく原因をカードに書き出し隣に置いていくと、“悪い未来”をゴールとして、双六のマスを作っていくような形になります。



2 第1回ワークショップのレジュメ



第2次伊豆市総合計画策定のためのワークショップ 【第1回資料】

目次

- 1 全体プログラムについて..... 2
- 2 本日のプログラム..... 3
- 3 総合計画と伊豆市の状況について..... 4
- 4 ワークショップの基盤にあたって..... 10
- 5 第1回ワークショップの進め方..... 11



伊豆市

1 全体プログラムについて

第1回 8月27日(水) 19:00~

- ◇ 伊豆市の“悪い未来”を想像する ◇
総合計画の概観、伊豆市の状況の説明
第1回ワークショップの趣旨にあたり、総合計画の概観や伊豆市の状況（人口等の統計情報や社会潮流）について説明します。
- ◇ 伊豆市の“悪い未来”を想像する ◇
人口減少、少子高齢化が進行していく中で、“このままいって伊豆市がどうなってしまうのか？”また、そうなるってしまつのはなぜなのか？”を考えましょう！
- 第2回 9月9日(火) 19:00~
◇ 伊豆市が“悪い未来”に向かわないために何をすべきかを考える ◇
「今後10年間で何をすべきか」を考える
第1回ワークショップで考えた「伊豆市の“悪い未来”」に向かわないために、今後10年間で「何をすべきか」を「人口」「子育て・教育」や「産業」等の視点から考えましょう！
- 第3回 9月30日(火) 19:00~
◇ 伊豆市の“悪い未来”を考える ◇
今後伊豆市に必要なことを考える
第2回ワークショップで考えていただいた取組みを行っていくことで、「どんな伊豆市の未来が考ええてくるか」を皆さんの希望や願いを踏まえながら考えましょう！

2

2 本日のプログラム

| | |
|-------------------------|---|
| 1. 開会 | 第1回ワークショップのスタートです。 |
| 2. あいさつ | |
| 3. 説明 (約20分) | <p>○総合計画とは？ 伊豆市の状況について</p> <p>○本日の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回ワークショップ実施にあたって ・第1回ワークショップの進め方 |
| 4. ワークショップの実施 (約70分) | <p>(1) 前半：小グループによる自由な話し合い（ルールブックエ） 『このままだと、伊豆市にはこんな“悪い未来”が待っている！』</p> <p>(2) 後半：話し合った内容の整理（逆双六形式） 「どうしてそうなるか？」を考えましょう</p> |
| 5. 閉会 | 第1回ワークショップの終了です。 |



3

3 総合計画と伊豆市の状況について



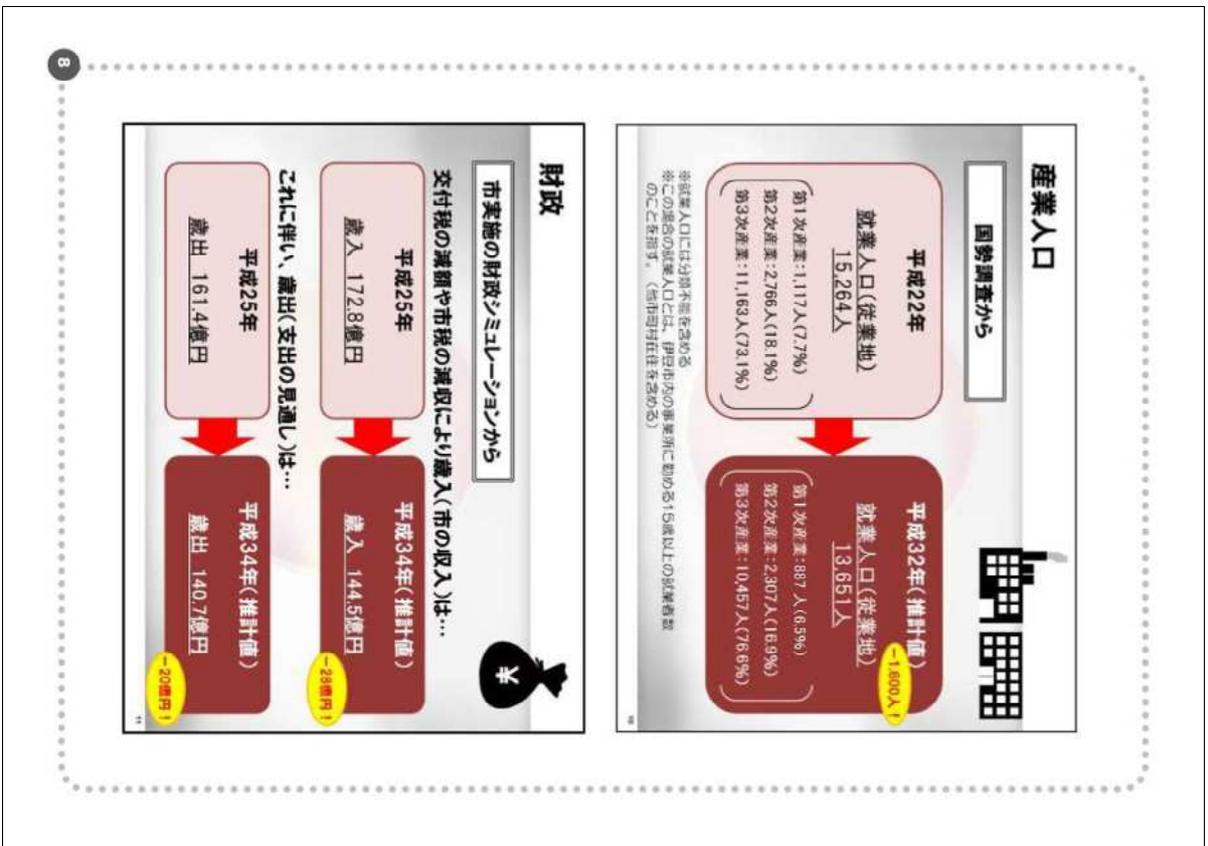
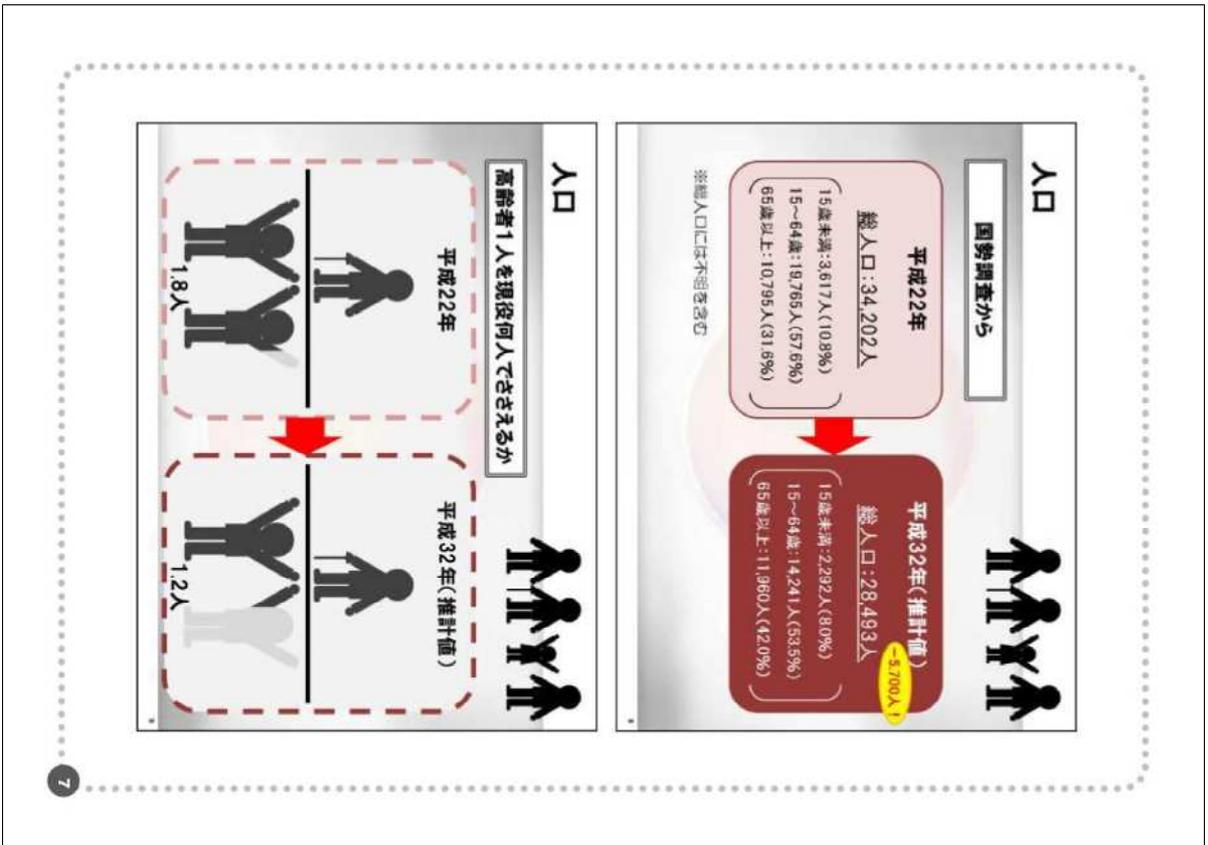
総合計画とは

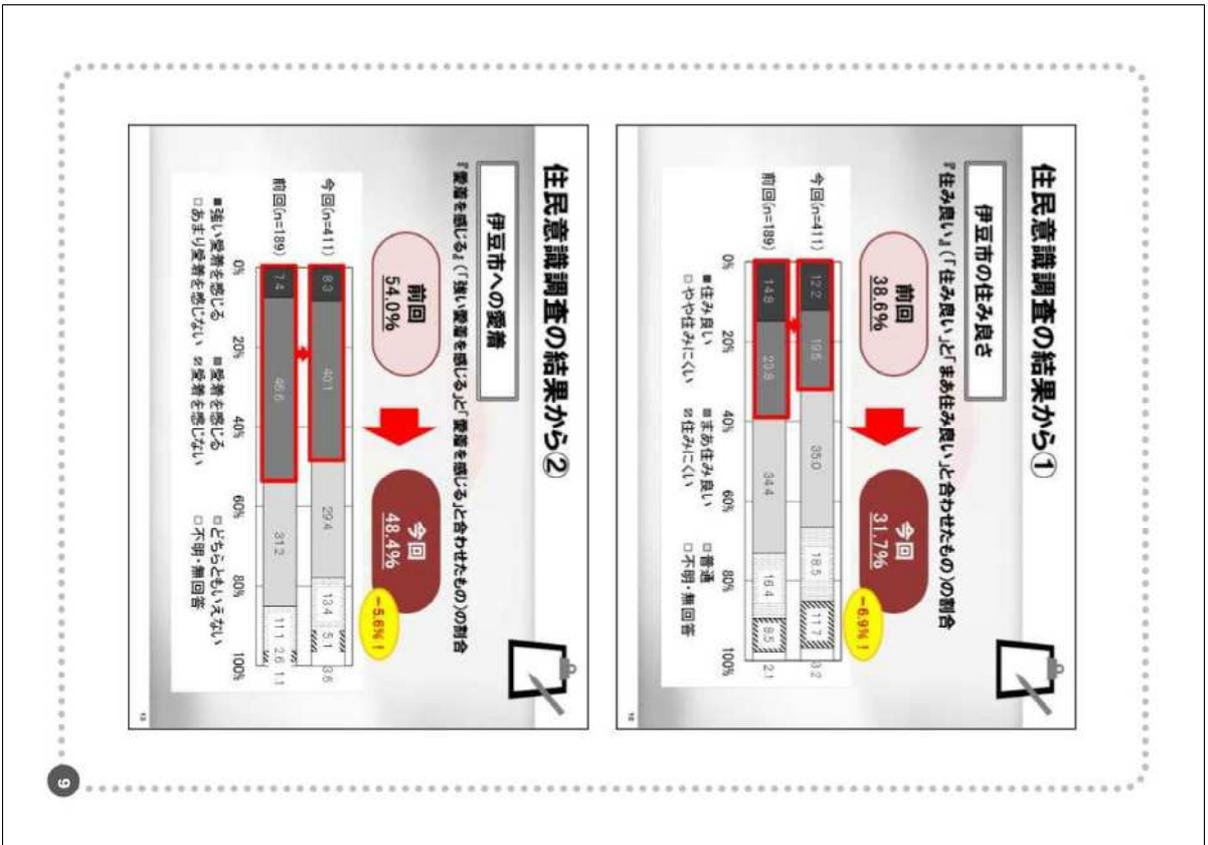
- ・ 市全体の均衡ある発展を目指すことを目的とした、一体的、総合的なまちづくりの方向性を示す指針
- ・ 今後のまちづくりをより発展的かつ現実的に推し進めることを目的とした計画



市の策定する計画の中で最上位に位置する計画

4





4 ワークショップの実施にあたって

(1) ワークショップの目的

第2次伊豆市総合計画の策定に向けた、10年後の伊豆市のまちづくりの方向性の検討にあたり、市民の皆様の目線から、伊豆市の現状や地域を良くするためのアイデアなどを伺い、ききたいと思ひます。

(2) 「ワークショップ」とは?

ワークショップとは、先生や講師から一方的に話を聞くのではなく、参加者が主体的に議論に参加し、相互に刺激し合い学び合う方法です。

(3) ワークショップに入る前の簡単な約束事

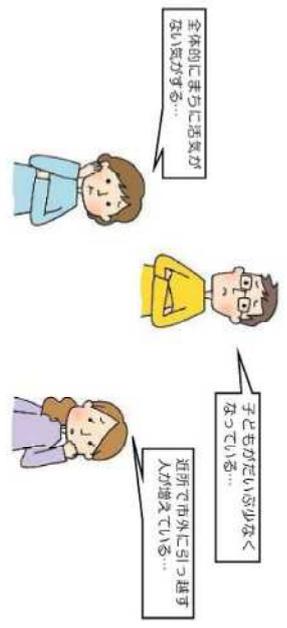
- ワークショップは、限られた時間内で行います。そのためより多くの人の意見が出るようまだ聞けることができるように配慮してください。一人で話を独占してしまふ。また、一言もしゃべらなかったということがないようにご協力をお願いします。
- ワークショップは討論会ではありません。出された意見の批判はしないでください。意見については、どのような背景があつてそのような意見になっているのか、発言者の立場になつて考えてみるということが大切です。
- 楽しい雰囲気になるようにお互いに向かひましょう。

5 第1回ワークショップの進め方

(1) 前半：小グループによる自由な話し合い（ワールドカフェ）

テーマ 『このままだと、伊豆市にはこんな“悪い未来”が待っている！』

- ① 3～4人で集まり自由に話し合い！
3～4人で1グループとして、テーマ『このままだと、伊豆市にはこんな“悪い未来”が待っている！』について、自由に話し合おう。
- ② 時間がきたら移動！
時間がきたら1人はその場に残り、他の人は別のグループへバラバラに移動しましょう。なるべくまだ話していない人と一緒になるように心がけましょう。
- ③ 新たなメンバーで再話し合い！
新たに集まったメンバーで、同様にテーマに沿って話し合おう。また、グループに残っていた人は、そこでどのような話が行われたかも簡単に説明しよう。
- ④ 再度②と③を繰り返します



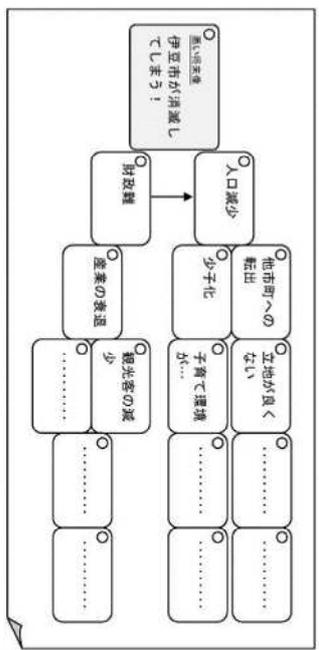
11

(2) 後半：話し合った内容の整理

「どうしてそうなるか？」を考えよう（逆双六形式）

- ① 伊豆市の“悪い将来像”を想像しましょう。
前半の話し合いの中で、このままだと、伊豆市が行きつく“悪い将来像”を1つ考え、カードに書きましょう。
- ② “悪い将来像”に行きつく原因を考えましょう。
①で考えた“悪い将来像”に行きついてしまう原因をカードに書き、“悪い将来像”のカードの裏にくっつけましょう。
(あらかじめ、キーワードとなるカードを用意させていたいただきますので、そちらもご活用下さい。)
- ③ 「どうしてそうなるか？」を繰り返しながら、原因を探りましょう。
「なぜだろう...悪い将来像...」に行きつく原因の原因を考えてカードに書き、並べているカードの後ろにくっつけましょう。そして、さらにその原因を考えてカードに書いていくことを繰り返しましょう。

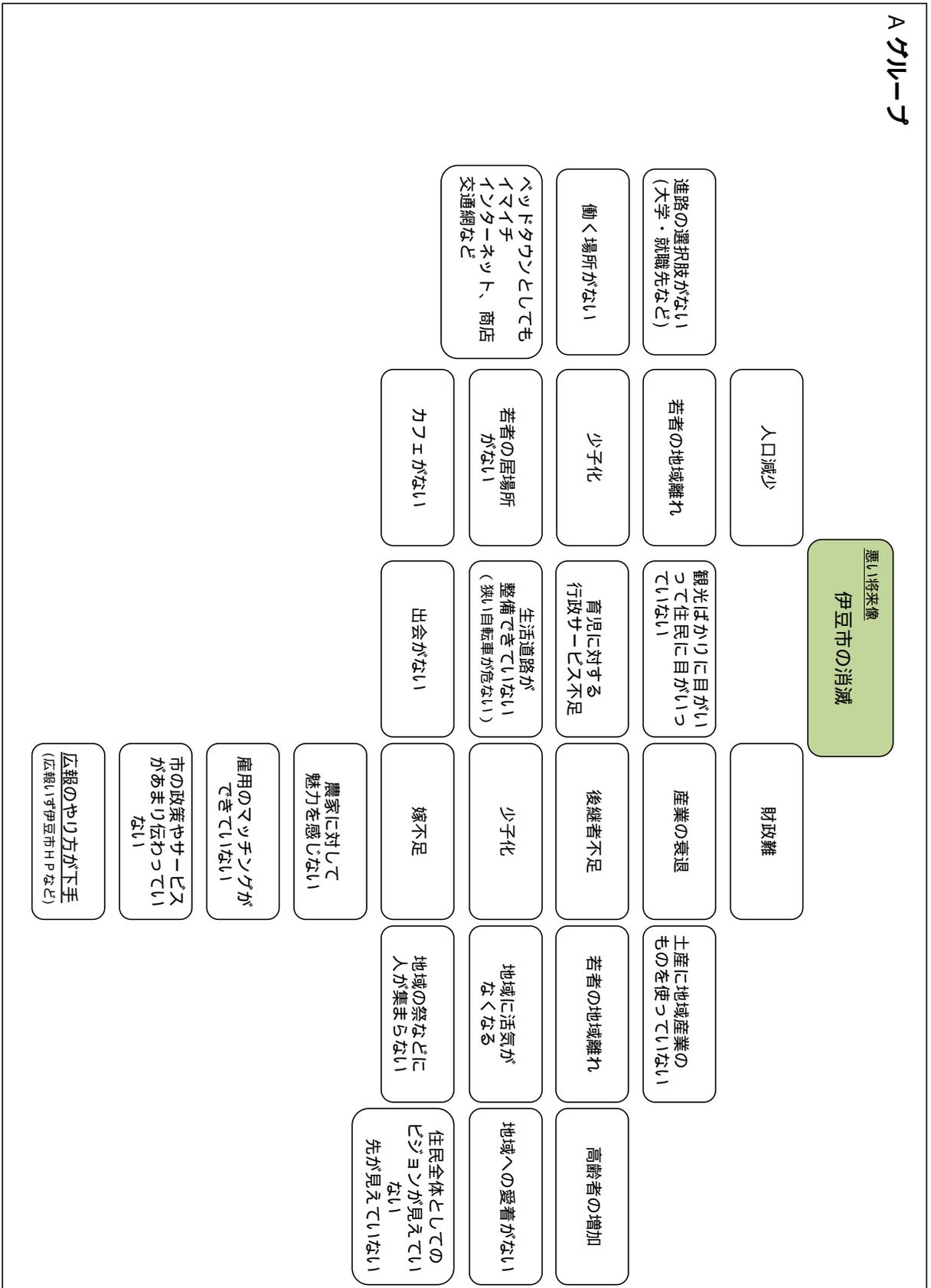
■カードの整列イメージ



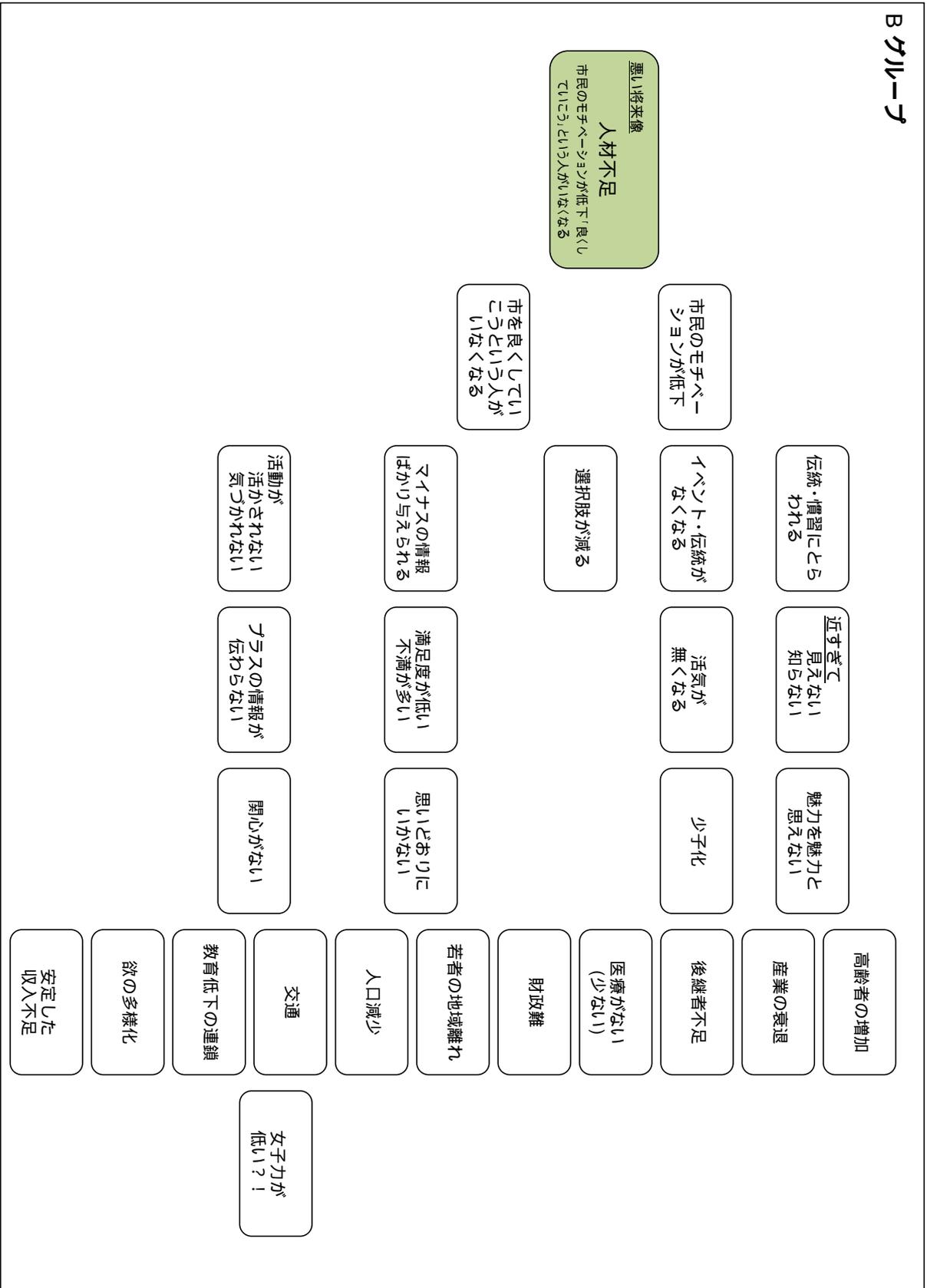
このように、カードをくっつけていくと、「悪い将来像」をゴールとして、双六のマスを作っていくような形になります。
イメージはあくまで一例になりますので、話し合った内容を踏まえながら、やりやすいようにカードをくっつけて下さい。

12

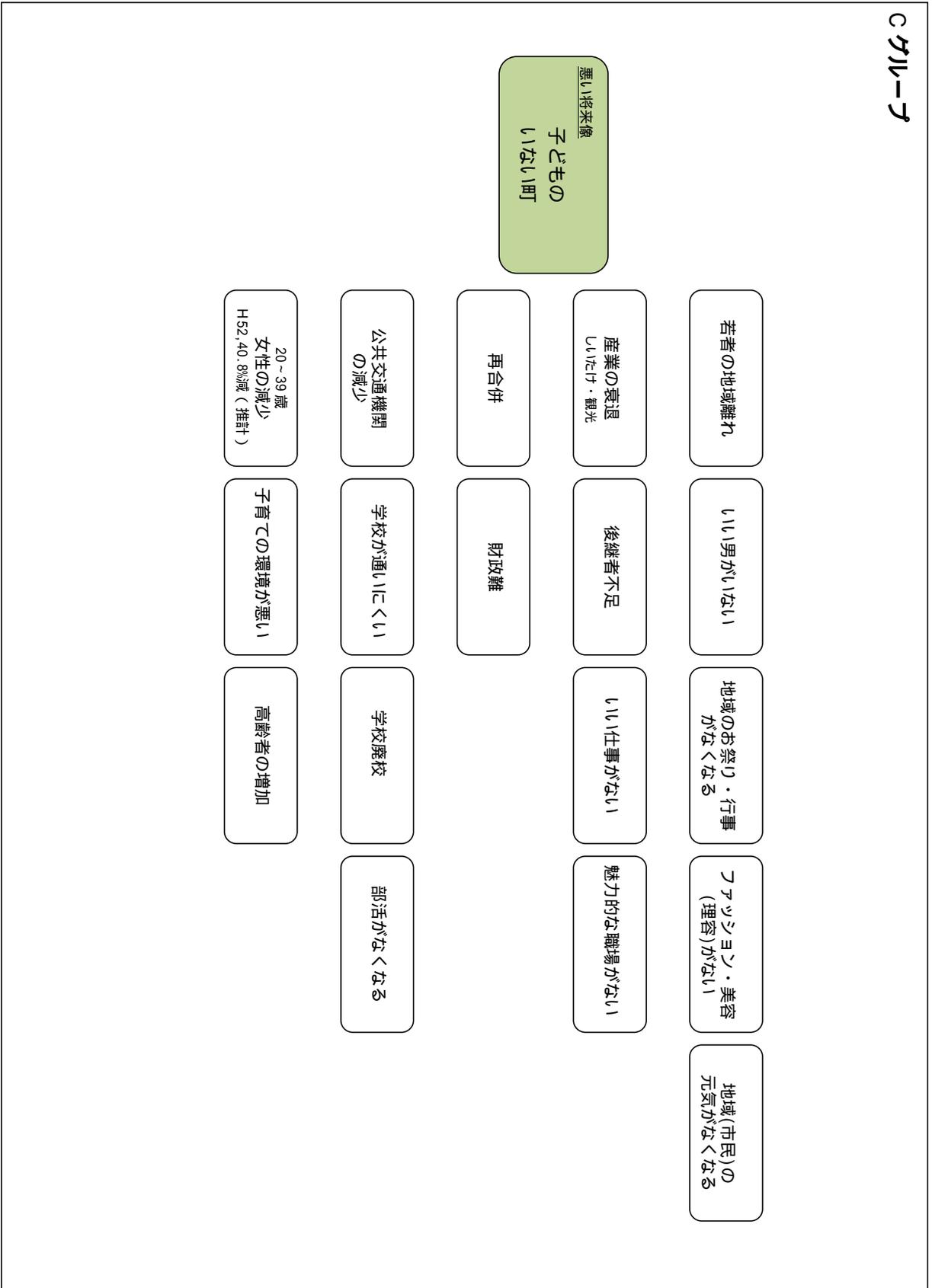
3 検討結果（模造紙）



B グループ



Ｃケルーナ



第2回ワークショップ

1 当日の流れ

(1) 「悪い伊豆市」に向かわないために、「何をすべきか」を考える

第2回ワークショップでは、第1回ワークショップで出した意見をもとに「伊豆市の“悪い未来”に向ってしまふ主な原因」を事務局で4つにまとめました。それらの原因を解消するために、「何をすべきか」を考え、フセンに書きだし、参加者一人ひとりが発表しながら、模造紙に貼っていきました。



(2) 「すべきこと」を一言でまとめましょう

書いたフセンの内容をまとめ、それぞれの「伊豆市の“悪い未来”に向ってしまふ主な原因」を解消するために「すべきこと」を一言でまとめたところで、第2回ワークショップを終了しました。



2 第2回ワークショップのレジュメ



第2次伊豆市総合計画策定のためのワークショップ 【第2回資料】



伊豆市

目次

- 1 全体プログラムについて..... 2
- 2 本日のプログラム..... 3
- 3 第1回ワークショップの結果について..... 4
- 4 ワークショップの実施にあたって..... 7
- 5 第2回ワークショップの進め方..... 8

1 全体プログラムについて

第1回 8月27日(木) 19:00~

◇ 伊豆市の“悪い未来”を想像する ◇

○ 総合計画の概要、伊豆市の状況の説明
第1回ワークショップの趣旨にあたり、総合計画の概要や伊豆市の状況（人口等の統計情報や社会潮流）について説明します。

○ 伊豆市の“悪い未来”を想像する
人口減少、少子高齢化が進行していく中で、“このままいくと伊豆市がどうなってしまうのか”また、そうなるしてしまうのはなぜなのか？”を考えましょう！

第2回 9月9日(火) 19:00~

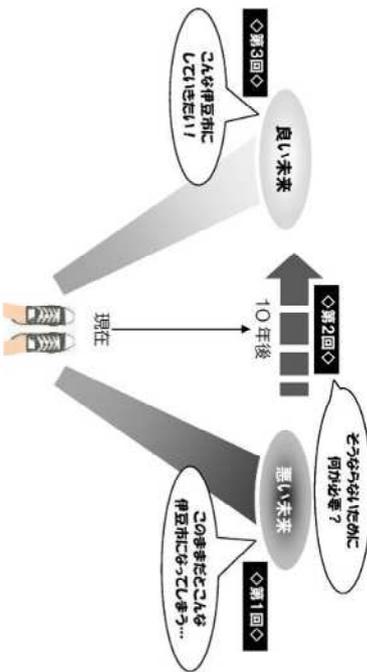
◇ 伊豆市が“悪い未来”に向かわないために何をすべきかを考える ◇

○ 「今後10年間で何をすべきか」を考える
第1回ワークショップで考えた「伊豆市の“悪い未来”」に向かわないために、今後10年間で「何をすべきか」を「人口」「子育て・教育」や「産業」等の視点から考えましょう！

第3回 9月30日(火) 19:00~

◇ 伊豆市の“良い未来”を考える ◇

○ 今後伊豆市に必要なことを考える
第2回ワークショップで考えていただいた取り組みを行っていくことで、「どんな伊豆市の未来が見えてくるのか」を皆さんの希望や願いを踏まえながら考えましょう！



このままだとこんな伊豆市になってしまう...

そうならおれのために何か必要?

良い未来

悪い未来

これを伊豆市にしたいです!

現在

10年後

2

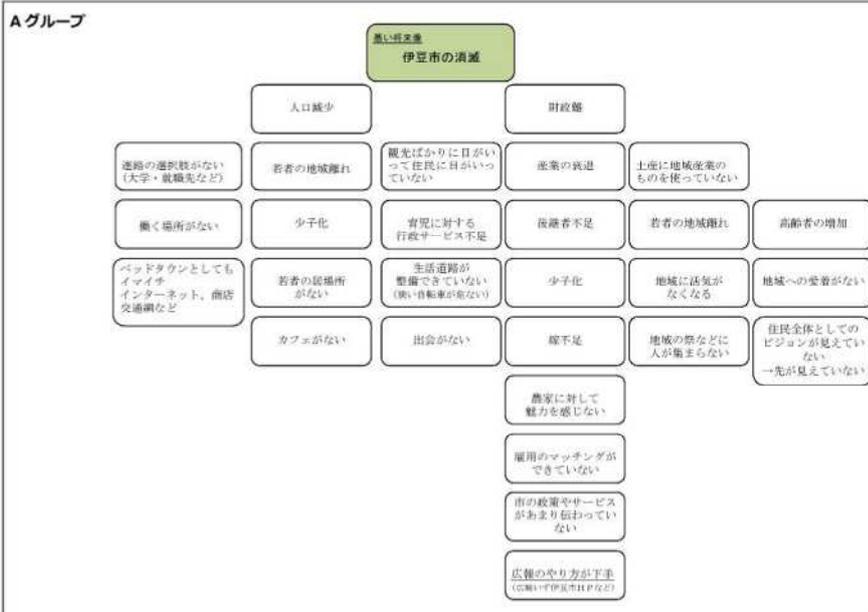
2 本日のプログラム

| | |
|------------------------------|--|
| 1. 開会 | 第2回ワークショップのスタートです。 |
| 2. あいさつ | |
| 3. 説明 (約 10分) | ○第1回ワークショップの振り返り ○本日の進め方 ・第2回ワークショップ実施にあたって ・第2回ワークショップの進め方 |
| 4. ワークショップ の実施 (約 80分) | (1) 「悪い伊豆市」に向かないために、「何をすべきか」を考 えましょう (2) 「するべきこと」を一言でまとめましょう |
| 5. 閉会 | 第2回ワークショップの終了です。 |

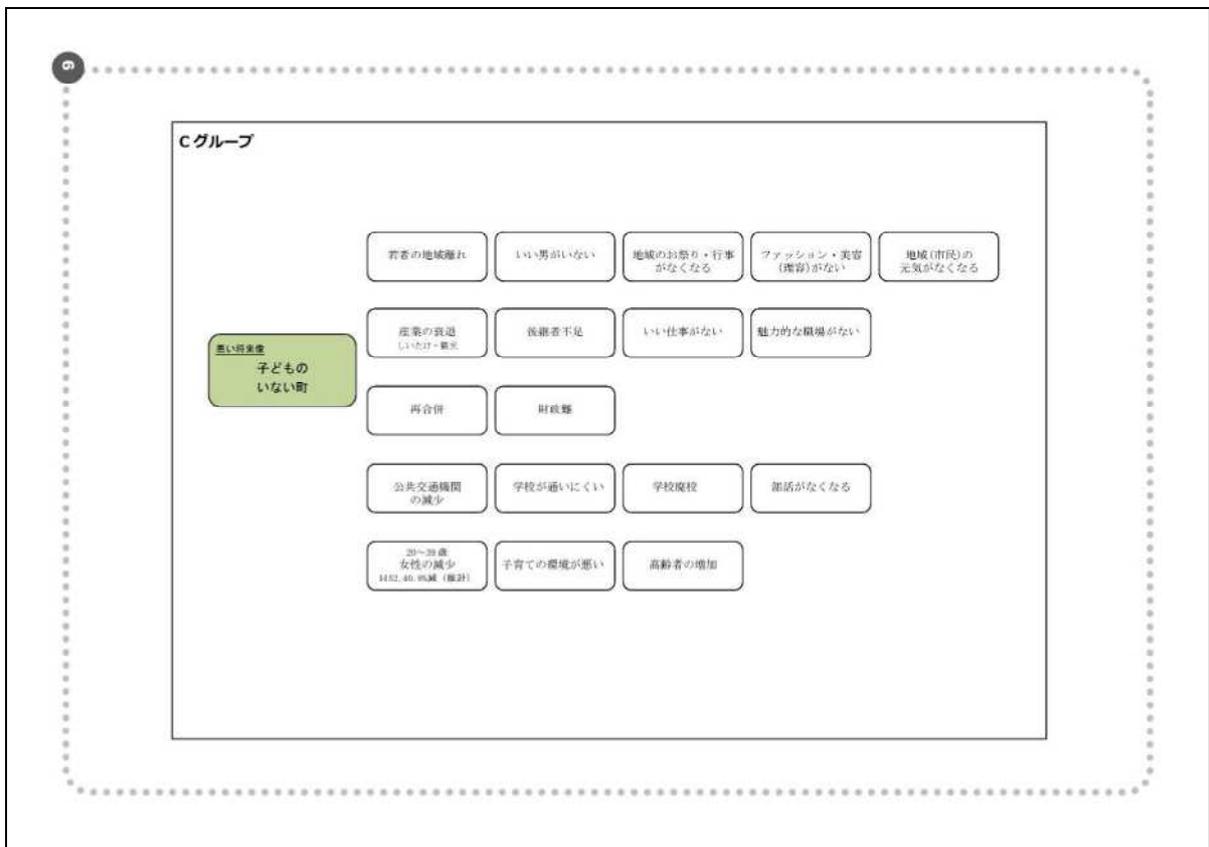
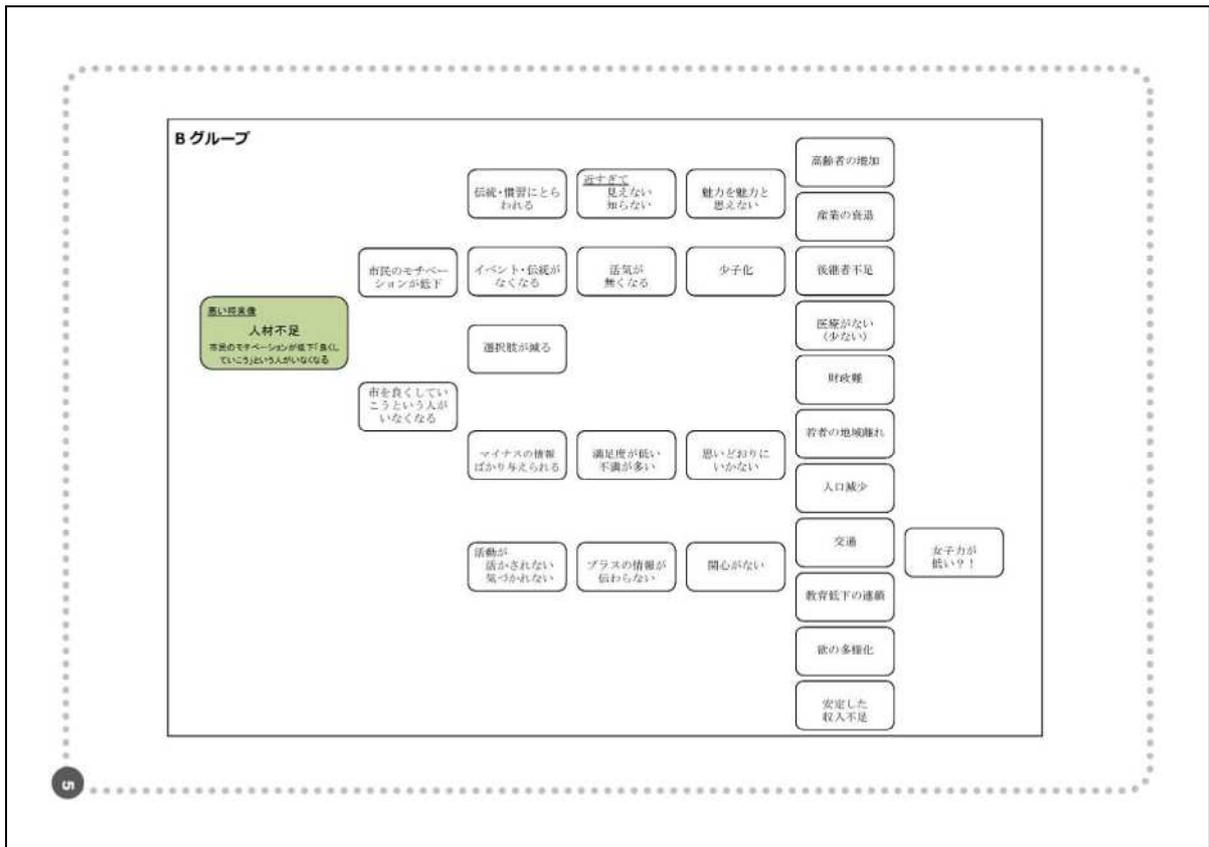


3

3 第1回ワークショップの結果について



4



4 ワークショップの実施にあたって

(1) ワークショップの目的

第2次伊豆市総合計画の策定に向けた、10年後の伊豆市のまちづくりの方向性の検討にあたり、市民の皆様の目線から、伊豆市の現状や地域を良くするためのアイデアなどを聞きたいと思います。

(2) 「ワークショップ」とは？

ワークショップとは、先生や講師から一方的に話を聞くのではなく、参加者が主体的に議論に参加し、相互に刺激し合い学び合う方法です。

(3) ワークショップに入る前の簡単な約束

- ワークショップは、限られた時間内で行います。そのためより多くの人の意見が出るようまだ聞けることができるように配慮してください。一人で話を独占してしまふ、また、一言もしゃべらなかつたということがないようにご協力をお願いします。
- ワークショップは討論会ではありません。出された意見の批判はしないでください。意見については、どのような背景があつてそのような意見になつていいのか、発言者の立場になつて考えてみるという事が大切です。
- 楽しい雰囲気になるようにお互いにお互いに心がけましょ。

7

5 第2回ワークショップの進め方

(0) 第1回ワークショップの意見の整理

第1回ワークショップで出して頂いた意見をもとに「伊豆市の悪い未来」に向けてしまう原因を各横造紙の通り、4つにまとめました。

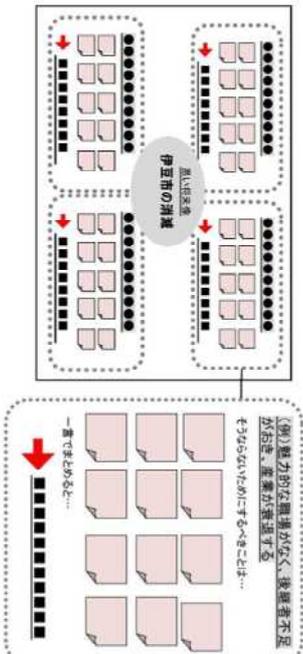
(1) 「悪い伊豆市」に向かわないために、「何をするべきか」を考えましょ

- ① 横造紙のそれぞれの原因を解消するために、「何をするべきか」を考え、フセツに書きだしましょ。
※必ず1枚のフセツに1つの意見のみ記入してください。
※フセツは回数書いていただいてもかまいません。
- ② フセツを書いたら、1枚ずつ発表しましょ。発表し終つたフセツは、横造紙に貼つていしましょ。

(2) 「するべきこと」を一言でまとめましょ

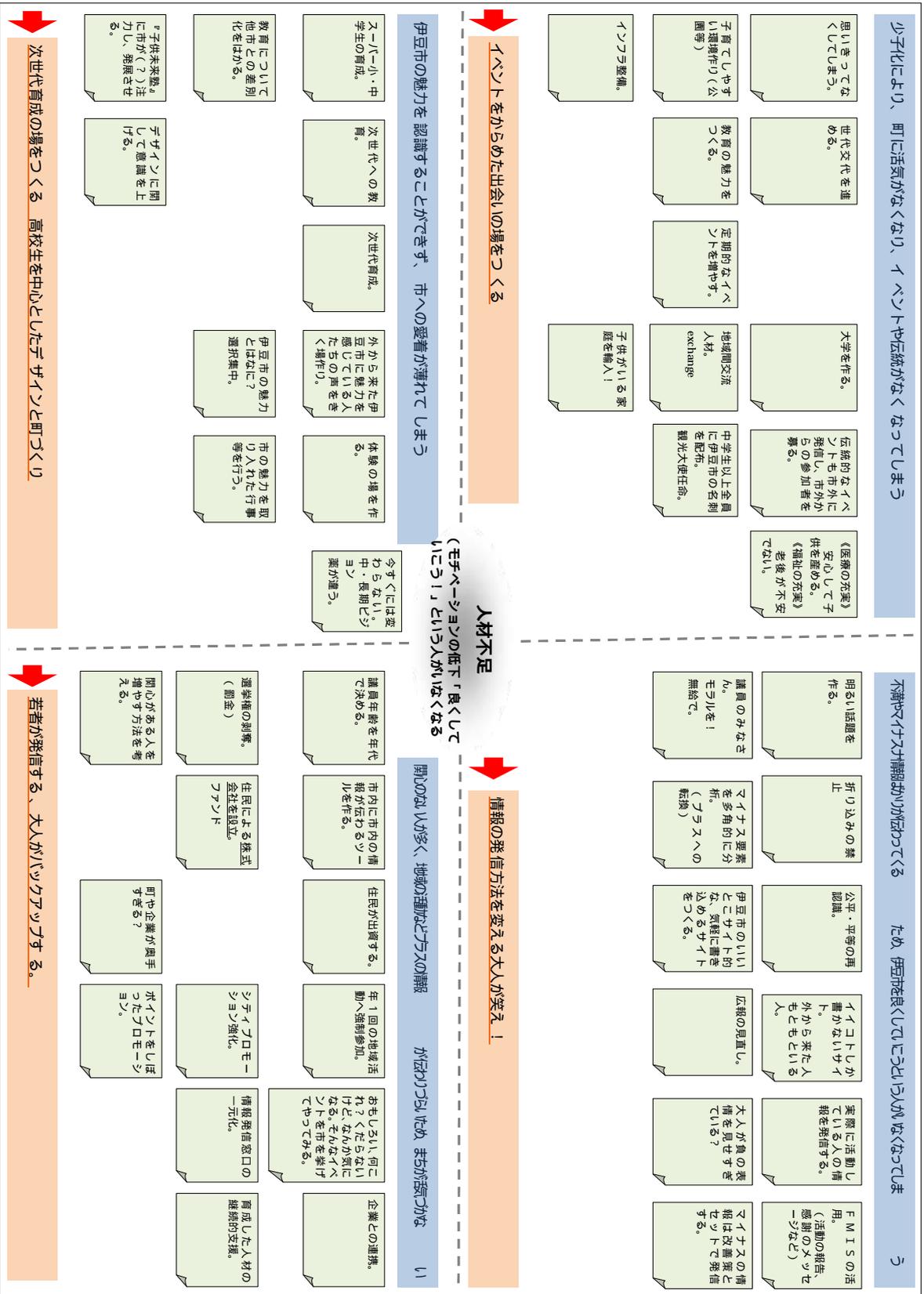
各項目について、書いたフセツの内容をまとめ、「するべきこと」を一言で横造紙に書きだしましょ。

●横造紙イメージ



8

Bグループ



第3回ワークショップ

1 当日の流れ

(1) 「すべきこと」を行うことで、見えてくる未来のキーワードを書きましょう

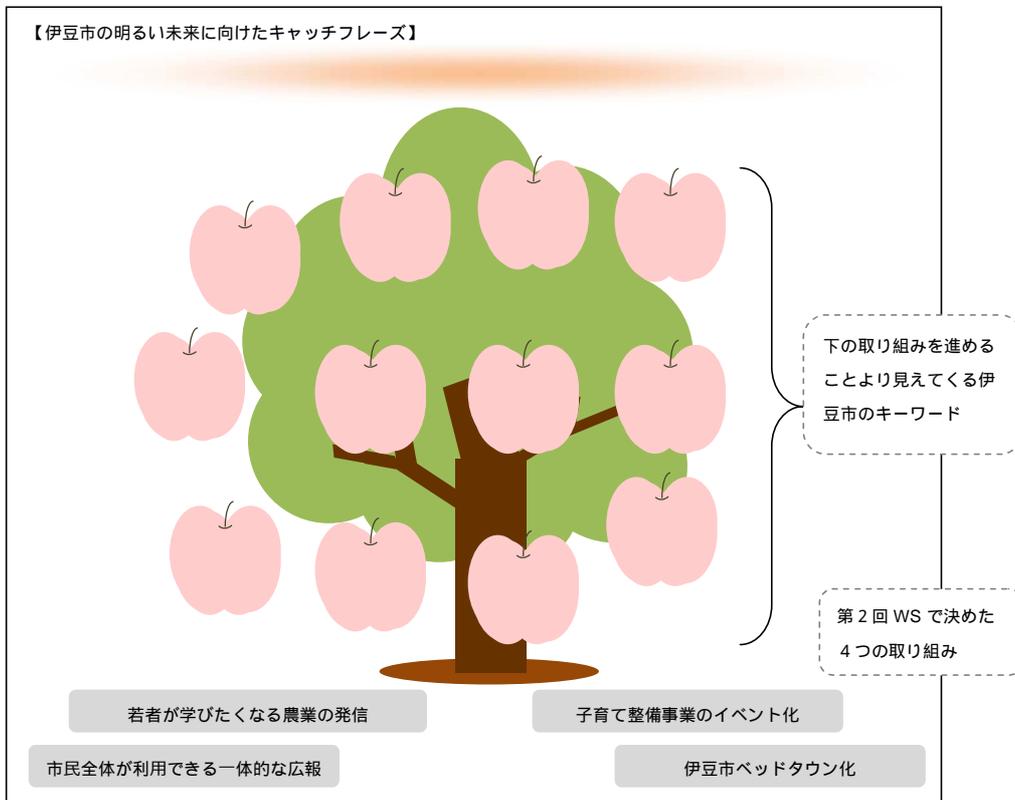
第3回ワークショップでは、第2回ワークショップで考えた「悪い伊豆市」に向かわないために「すべきこと」を行っていくと、どんな「明るい伊豆市」の未来が見えてくるかをリンゴの形をしたフセンに書き込み、木の形が書いてある模造紙に貼っていきました。



(2) 伊豆市の「明るい未来」に向けたキャッチフレーズを考えましょう

書き出したフセンの内容を参考にしながら、伊豆市の「明るい未来」に向けたキャッチフレーズを1つ考え、模造紙の木の上の部分に書き込みました。

模造紙の作成イメージ



(3) 話あった内容を発表し、お互いの内容を共有しましょう

作成した模造紙と、これまでの3回を通してグループで検討した内容をもとに、話し合った内容について、各グループごとに発表を行い、参加者の全員で共有しました。

発表内容

グループA

私たちのグループでは、悪い未来として「伊豆市の消滅」、つまり人口が減ってしまって、伊豆市自体がなくなってしまう未来を描きました。それに行きついてしまう主な原因として、一つ目に「農業をはじめとした地域産業に魅力を見いだせず、産業全体が衰退してしまう」、休みが取れないなど農業の悪いイメージが払しょくできず、いいところを見つけられないまま産業が衰退してしまうこと、二つ目に「子育て環境や生活環境（道路など）の整備が進まず、人が定着しない」、



子育て環境や道路環境が悪かったり、インターネットが整備されていないため人が定着しないこと、三つ目に「情報発信やPRが上手くいかないため、市の取り組みやサービスが市民に伝わらない」、子育てに対する取り組みを上手くPRできておらず、伊豆市のイメージが変わらないこと、四つ目に「市内に進学先や就職先がなく、地域から若者が離れてしまう」、高校より先の進学先や就職先で望むところがなく市外にでるにしても交通が不便であることを挙げました。

では、これらの課題を解消するために、一つ目は農業していく若い人が学校での体験などを通じて農業を学びたくなるような情報を発信すること、二つ目は、母親目線で子育て環境がしやすいよう、公共交通機関や医療費の整備をしたり、また、子どもが遊びやすい場をつくる「子育て整備事業のイベント化」、三つ目に、伊豆市の広報は下手だという意見もあったが、市民全体が利用できる言った的な広報の発信を、四つ目に進学先・就職先は市外にあっても伊豆市に住みながら、通ったり働いたりすることができるようにする「伊豆市のベットタウン化」を挙げました。

これらの「こうなったらいいな」というものがあり、それらができると、例えば、若者の定住化や産業を活性化により市にお金が入る、また、空き家を若者に住んでもらい景観の回復につながる、自信を持って他に発信できるイベントや子どもを呼び込めるイベントができ、人が集まるといったことが考えられ、若者にとって居心地の良いまちになると思います。もともと伊豆市は高齢者が多いですが、そういった方が作り上げてきたイメージと上手く両立されると、若者にと



っても高齢者にとっても居心地がよく住んでいて楽しいまちになると思います。今ではそんなにスゴイと言えないことでも、10年たった時にはスゴイと言えるのではないかと思います。

これらを踏まえて、私たちのグループで最終的に決めたキャッチフレーズは「復活！伊豆市 ~未来の“スゴイ！”を創るまち」となりました。

グループB

結論から申し上げますと、キャッチフレーズを「高校生主体のまちづくり」としました。

これまでの3回のワークショップを通して、伊豆市総合高校の生徒合計9人に来てもらい、毎回素晴らしい意見を出していただきました。伊豆市は人材不足ということで、こういう場をつくって市のことを考えていただきたいのかなと思います。

ワークショップでは、問題点と解決策が4つあって、実際に総合計画の中に位置付けられて、市民の皆さんの協力を得て取り組むことができるかは分かりませんが、次世代の高校生主体のまちづくりとすることで可能になるのではないかと考えました。

高校生とは書いていますが、高校生の下には中学生、小学生、上には大学生、大人といった縦のつながりをしっかりつくることによって明るい伊豆市が見えてくると思います。

「高校生主体のまちづくり」の中で、まずは「イベントを絡めた出会いの場をつくる」ということで、このようなワークショップの場をつくることで、高校生と大人が交流することができると思います。また、土肥は人数が少なく、伊豆総合高校と土肥高校が合併していることもありますが、土肥を盛り上げるためにも修善寺がまずは盛り上がる、そのことにより、土肥や天城が生きてくるのではないかと考えます。

また、「高校生主体のまちづくり」で一番大事になることがアイデンティティだと思います。大人の意見も大事ですが、高校生が情報を発信していくことは、自分らしさを持つことにつながると思います。また、高校生だけでなく、中学生などもこのような場に呼べば、その先の将来に生きていくと思うので、広げていきたいと思っています。清掃活動なども、地域と連携して行っており、コミュニケーションや人と繋がる良い機会だと思います。このようなワークショップをはじめ、交流の場を土肥でもつくっていただければと思います。

話合いの中で、高齢者の方が高校生と話をし若返るといった話もききました。高齢者の生きがいにもなるので、コミュニケーションを図れる場を増やしたいです。また、「大人が笑え」とありますが、笑うことはとても大事なことで、人数が少ないところであるからこそ、笑って元気に過ごすことが大事だと思います。

最期にまとめますと、「高校生主体のまちづくり」を軸にして、学校で生徒主体でワークショップで開くなど、色々なことを考えていけたらいいと思います。また、また伊豆総合高校に観光



学科をつくるというアイデアもありましたが、建築もデザインもできる学校なので、色々なことにチャレンジすることができる学校をつくるのがアピールになり、来たいと思う人が増えると思います。静岡県で35自治体ある中で、最も可能性があるのが伊豆市だと思うので、市の全体的な考え方を学生や教育を中心にするのができればいいのではないかと考えます。



グループC

まず、私たちは「子どものいない町」という悪い未来を考えました。少子高齢化等で人も減り、廃校も進んでいます。その主な原因としては、魅力的な職場が減って、後継者が不足し、産業が衰退すること、公共交通機関が減少し、生徒が学校に通いにくくなり、廃校になってしまうことが挙げられました。また、子育て環境が悪化し、若い女性が減少し、少子高齢化が進行してしまうこと、これについては以前テレビで、女性が都心に流出してしまうことが問題視されていました。



さらに、財政難が深刻化し、他市町と合併してしまうこと、例えば、伊豆の国市と合併すると、吸収される形になり、役場の機能などは伊豆の国市に行ってしまう、また人が減り、子どもがいなくなってしまうことが考えられます。これらのことから、伊豆市の悪い未来を「子どもいない町」と想定して話を進めてきました。

これら課題を解消するために取り組むことは、大きく分けて二つの柱から成り立ちます。一つ目は、「自然を生かす、観光課をつくる ハイレベル」ということで、伊豆総合高校に観光科を作るなど、特色のあるプログラムを作って子どもが通いたくなる学校を作ること、また、伊豆市は子育て環境や住宅手当などは充実しているので、もっとPRしていくことが大事だと思います。まずは、これらの「子どもを育てる環境をつくる」こと、これが一つ目の柱だと思います。

しかし、子どもが育つ環境だけでなく、仕事など将来的にそこに住まなければ話になりません。そこで、二つ目の柱を「活躍する場所を地域の中につくる」こととしました。

取り組みとして、まず、伊豆市では後継者が減っている割に、仕事がないとよく言われています。そのため、例えば、農業法人をつくり、新卒採用など雇用の場を作ることが考えられます。今であると、農業に就職したくても、どこに行けばわかりづらい状況なので、人が入ってきやすい環境をつくることできれば、特にわさびなど力のある産業では後継者不足もなくなり、働く人も増えると思います。

次に、「市の財政を見直し無駄をなくす。行政に頼りすぎず市民自ら動く。そこに行政がバックアップする体制をつくる」ということです。今、市の方で何かやろうとなると、無駄が多いと思うので、市民の方から要望や解決してほしいことを出し、それに対し市がお金を出し、市民が勝手にやっていくのはいかがでしょうか。市民が役場から言われて動くのではなく、市民から市へ、「こういうことがしたい」といって市民が動いていく仕組みや、地域のコミュニティの中で活躍できる場を作ることにより、財政の健全化につながると思います。

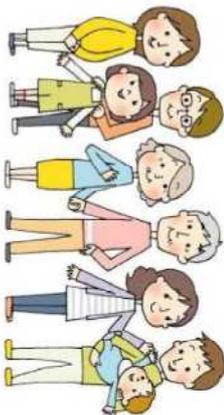
このように、育つ場所と活躍する場所を地域の中につくっていかうところが解決策の柱として出てきました。伊豆市に残ることができる環境づくりと学校を卒業してから一度伊豆市を出ても、戻って働ける場所をつくる場所が仕組みとして作るのではないかと思います。



これらのことを踏まえて、「子どもキラキラ ~子どもと描く明るい伊豆市」をキャッチフレーズとして、子どもが育ち、地域で活躍できる場をつくっていかうという結論にいたりしました。

2 第3回ワークショップのレジュメ

第2次伊豆市総合計画策定のためのワークショップ 【第3回資料】





伊豆市

目次

- 1 全体プログラムについて.....2
- 2 本日のプログラム.....2
- 3 第2回ワークショップの結果について.....3
- 4 ワークショップの実態にあたって.....4
- 5 第3回ワークショップの進め方.....7

1 全体プログラムについて

第1回 8月27日(水) 19:00~

◇伊豆市の“悪い未来”を想像する ◇

○ 総合計画の概観、伊豆市の状況の説明
第1回ワークショップの趣旨にあたり、総合計画の概観や伊豆市の状況（人口等の統計情報や社会潮流）について説明します。

○ 伊豆市の“悪い未来”を想像する
人口減少、少子高齢化が進行していく中で、“このままいくと伊豆市がどうなってしまうのか？”また、“そうならないためにはなにか？”を考えましょう！

第2回 9月9日(火) 19:00~

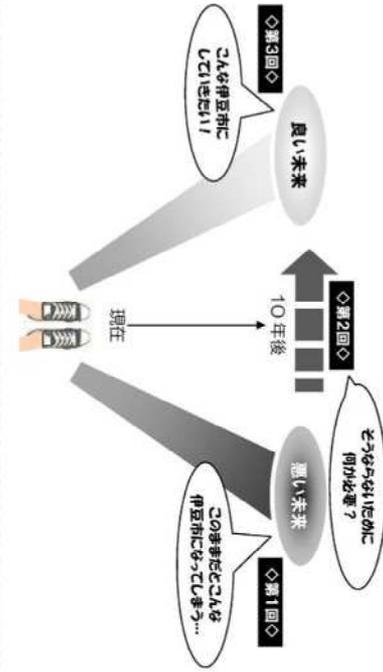
◇伊豆市が“悪い未来”に向かわないために何をすべきかを考える ◇

○ 「今後10年間で何をすべきか」を考える
第1回ワークショップで考えた「伊豆市の“悪い未来”」に向かわないために、今後10年間で「何をすべきか」を「人口」「子育て・教育」や「産業」等の視点から考えましょう！

第3回 9月30日(火) 19:00~

◇伊豆市の“良い未来”を考える ◇

○ 今後伊豆市に必要なことを考える
第2回ワークショップで考えていたために取り組みを行っていくことで、「どんな伊豆市の未来が見えてくるのか」を皆さんの希望や願いを踏まえながら考えましょう！



2

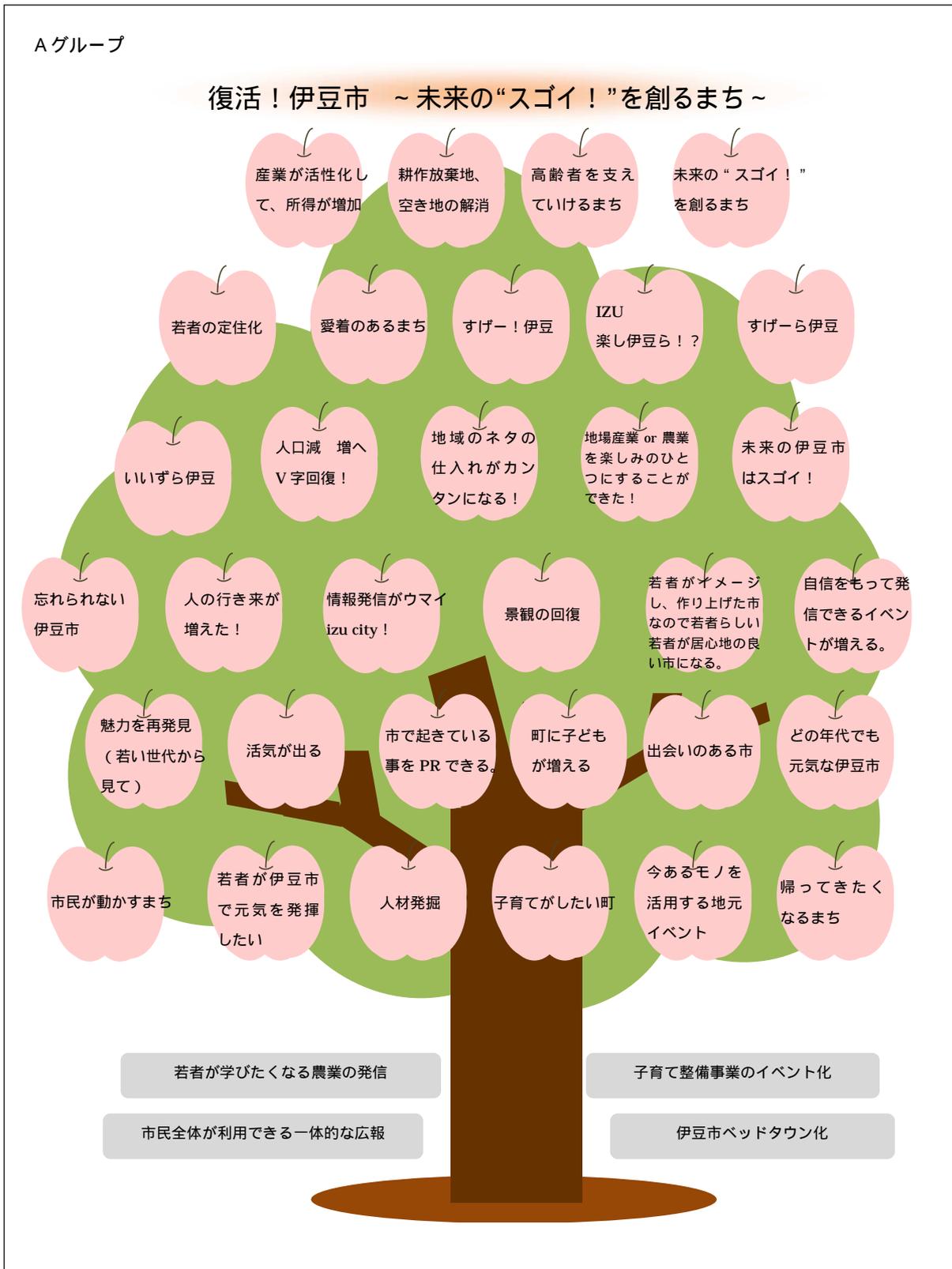
(3) 語った内容を発表し、お互いの内容を共有しましょう

これまでの3回を通してグループで検討した内容について発表しましょう。
1グループ、1分程度で発表をお願いします。

発表する主な内容

- 第1回のワークショップで決めた伊豆市の「願い未来」
- 主な4つの課題
- 課題を解消するために取り組むべきこと(4つ)
- 取り組むべきことを進めることより見えてくる伊豆市のキーワード
- 伊豆市の明るい未来に向けたキャッチフレーズ

3 検討結果（模造紙）



Bグループ

高校生主体のまちづくり



Cグループ

子どもキラキラ ~子どもと描く明るい伊豆市~

